

早稲田 IPS（学研都市）が実施

## 台湾・国立台北科技大学の学生を北九州へ招へい ～半導体サプライチェーンを学ぶプログラムを実施～

北九州学術研究都市に立地する早稲田大学大学院情報生産システム研究科（以下「早稲田 IPS」）は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の国際青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプログラム（※1）」の採択を受け、**2026年1月20日（火）から2月4日（水）まで、台湾の国立台北科技大学の学生を対象に、半導体産業を網羅的に学ぶ特別プログラムを実施**いたします。

期間中、学生による企業見学や最終日のプレゼンテーションなど、撮影・取材が可能な時間帯がございますので、ぜひ、取材方よろしくをお願いします。

（※1）さくらサイエンスプログラムとは、アジア・オセアニア地域の若者を対象とした国際交流プログラムで、科学技術分野における日本の魅力を発信し、将来的に日本の科学技術と密接な関係を築く人材を育成することを目的としたものです。

### 記

#### 1 本プログラムの背景と目的

半導体産業の重要性が世界的に高まる中、台湾・国立台北科技大学は2025年9月に「半導体製造プロセスおよび装置」学士プログラムを新設し、日本人留学生の受け入れを積極的に行うなど、日本との連携を強化しています。北九州市とは2025年8月に人材分野での連携協定を締結し、2026年7月から北九州市内の企業に学生を受け入れ、国際インターンシップを実施していく予定です。

これを受け、早稲田 IPS では同大学の電子工学分野の学生を対象に、「半導体のサプライチェーンを学ぶ」をテーマとした交流計画を立案。日本を代表する企業見学と専門講義を組み合わせ、次世代を担う技術者の育成と両国間の教育研究交流の促進を目指します。

#### 2 プログラムの特色

本プログラムは、単なる視察に留まらず、学生が自ら考え発信する「能動的参加」を重視しています。

#### トッパンナー企業への視察

- ・ 設計・製造・製品テストの各工程を牽引する企業（TOPPAN テクニカル・デザインセンター株式会社、三菱電機株式会社パワーデバイス製作所、株式会社アドバンテスト九州システムズ）を訪問します。

#### 専門家による徹底講義

- ・ 早稲田 IPS の教授 7 名が、最新の半導体技術について講義を実施します。

#### 双方向のコミュニケーション

- ・ 参加学生は事前に教員の研究や企業製品を調査し、具体的な質問を準備して臨みます。最終日には、プログラムを通じた自身の「世界観の変化」や「将来の社会貢献」について発表します。

### 3 実施概要

| 項目     | 内容  |
|--------|---|
| 期間     | 2026 年 1 月 20 日（火）～2 月 4 日（水）（※取材可能期間 1/26～1/29）  |
| プログラム  | 【 1/20（オンライン）オリエンテーション 】<br>1/26 AM 講義・ディスカッション（半導体プロセス・デバイス）<br>PM 同上、訪問先企業研究<br>1/27 終日 企業訪問（三菱電機パワーデバイス製作所・TOPPAN テクニカル・デザインセンター）<br>1/28 AM 中間発表、講義（高周波回路）<br>PM 講義（光エレクトロニクス／テラヘルツ）<br>1/29 AM 講義（光電融合／MEMS）<br>PM 企業訪問（アドバンテスト九州システムズ）<br>【 2/4（オンライン）講義と会社見学に関する意見交換会 】<br>*予定は変更となる場合があります。 |
| 場所     | 早稲田大学 北九州キャンパス（若松区ひびきの）<br>および 協力企業各社（福岡市内、北九州市内）   |
| 招へい対象  | 国立台北科技大学（台湾） 学生 7 名および引率者   |
| 実施主担当者 | 早稲田大学大学院情報生産システム研究科 教授 丹沢 徹   |

#### 【問い合わせ先】

##### （本プログラムおよび取材に関すること）

早稲田大学大学院情報生産システム研究科（早稲田 IPS） 事務局

担当：向井

TEL：093-692-5042 / E-mail：koho-ips@list.waseda.jp

URL：<https://www.waseda.jp/fsci/gips/news/2026/01/07/33309/>

##### （学術研究都市の取組みに関すること）

産業経済局未来産業推進課

担当：正野（課長）、岩崎（係長）、TEL：093-582-2905